

きのこ生産者の皆様へ

お宅の冷媒空調機器 大丈夫ですか？

冷えない！
動かない！

こうなる前に**簡易点検**を実施しましょう！

法律で点検が義務化されています

- ① すべての機器は、日常的に簡易点検を実施（3か月に1回以上）裏面参照
- ② 出力7.5kw（10馬力）以上は、専門業者の定期点検を実施（1年に1回以上）
- ③ 点検を実施した記録を作成・保存

冷媒ガスの生産が段階的に規制されています

特定・代替フロンは、国際協定により生産が縮小しています。

今後、ガスや部品等の調達が困難になり、修理ができなくなる心配があります。

まずは、冷媒ガスの種類を確認し、適切な保守・点検を心掛けましょう。

〈熱源機にあるラベル例〉

コンデンシングユニット			
電源	3相	50/60 Hz	200 V
呼称出力	22.5 kW		
冷媒	R404A		
始動電流	493 A/ 438 A		
運転電流	100.6 A/110.5 A	AT32°C, ET-10°C	
消費電力	26.4kW/32.7kW		
受液器内容積	110 L		
製品質量	555 kg		
気密試験圧力	H.P. 2.78 MPa	L.P. 1.65 MPa	
設計圧力	H.P. 2.78 MPa	L.P. 1.65 MPa	

出力の確認

7.5kw 以上は定期点検が必要

規制されているガスの種類

CFC R12

HCFC R22

簡単にできる点検方法

長野県冷凍空調設備協会 協力

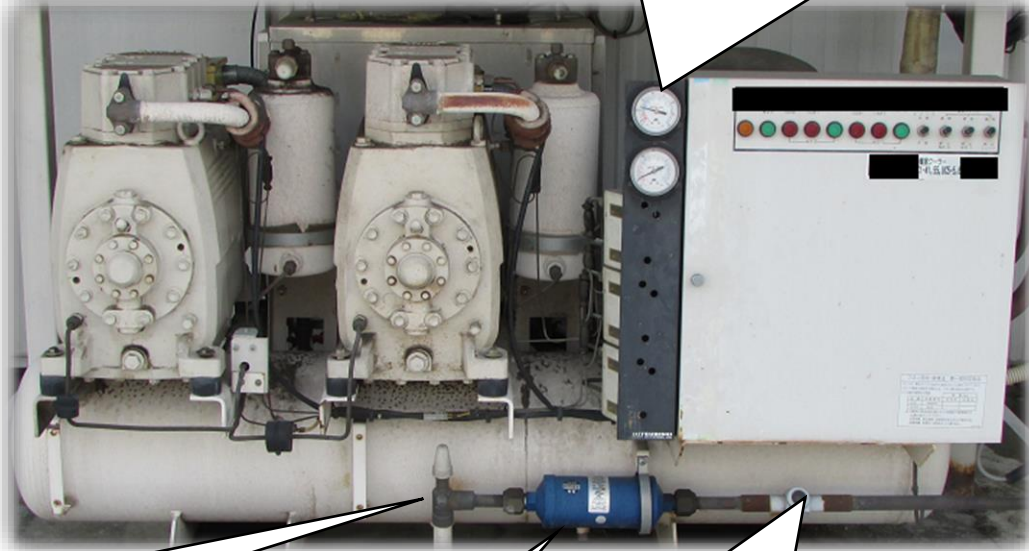
《冷凍機》

配管の油染みの有無

継目等から油もれが発生していないか

メーターの異常値

いつもより異常値を示していないか
高圧ゲージ 10~20kg 又は 1.0~2.0MPa
低圧ゲージ 2~4kg 又は 0.2~0.4Mpa
※R22 をお使いの場合



溶接部分からのガス漏れ

石けん水を噴霧して確認



可溶栓の変形

溶け出していないか

異常音の確認

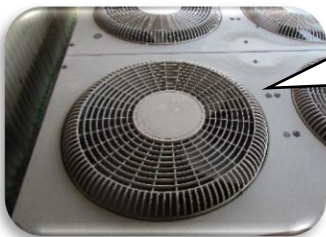
異常音はしないか

液冷媒の流れ状態

気泡が発生していないか
(見えにくいので
ライトを使いましょう)



《空冷コンデンサ》



ファンの異常

動いているか
異常音はしないか

《冷却機》

異常音の確認

異常音はしないか



放熱装置の異常確認、周辺環境の状態

ゴミが付着していないか (年1回の水洗い)
腐食・キズがないか 草等で覆われていないか